

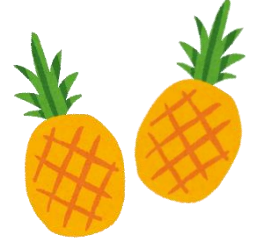
たんぽぽだより

H30. 7月 No.15

上田透析クリニック

今回のテーマ

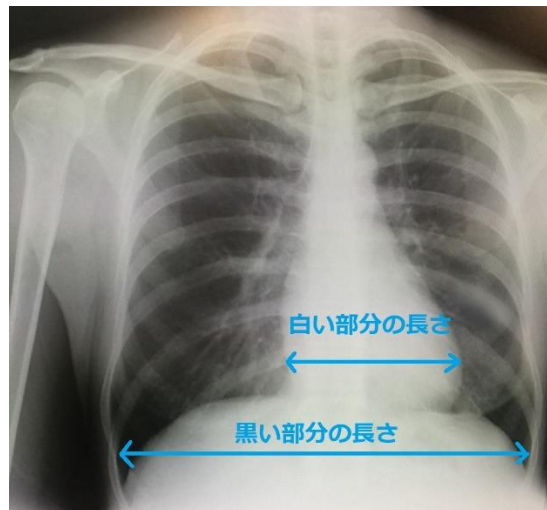
レントゲン



ようやく梅雨が明け、まぶしい太陽の陽射しと共に夏がやってきました。
皆さん、いかがお過ごしですか？

当院では、胸部は毎月、全身（頸椎（首）、両肩、両手、腰椎、骨盤）の撮影を一年かけて行っています。

胸部レントゲンを毎月撮影する理由は、基本体重を決める指標となる心胸郭比（CTR）がわかるからです。胸部レントゲン写真で、**肺や胸に余分な水がなく、心胸郭比が50%以下であることを目標としています**が、個人差があります。高血圧が長く続いている人、心臓の病気のある人は必ずしも心胸郭比が50%以下にならないことがあります。大きく息を吸い込んだ時に正面から撮影した写真で計測します。



毎回同じ条件となるようしっかり息を吸って
頑張って静止しましょう！



心胸郭比が大きくても
ずっとそのままの体重でいると
どうなるの？



♪答えは裏面をご覧ください♪



心胸郭比が大きいままだと
むくみ、血圧上昇、息苦しさ、咳などが出現し
やがて肺や心臓にまで水があふれ
肺水腫や心不全をおこします。

その他、全身のレントゲン撮影では、石灰化、骨粗鬆症、アミロイド沈着（アミロイド症）などの検査をします。



アミロイド症とは、長期間の透析によって発症する合併症です。全身にアミロイドというたんぱく質が骨や関節、靭帯に沈着して障害が生じている状態のことをいいます。発症しやすい部位は手関節、肩関節、股関節、膝関節といわれています。透析開始後10年以上で3割、20年以上で7割以上に生じます。その代表として、手根管症候群があります。



おまけ

心エコー検査

心臓の機能を評価します。心筋の虚血に由来する心臓の壁の動きの状態、心臓弁の石灰化、それによる逆流などを調べます。透析中など、予想外に血圧が下がる場合には、必要に応じ再度検査を行います。